

ごえん

高井浩子

ごえん

登場人物

金森繁（45歳）無職。求職中

金森陽子（43歳）金森の妻

金森真優（まゆ 19歳）金森の娘。大学1年生

荒木 金森に5円を借りる

原田 清掃員バイト

佐竹 清掃会社オーナー

矢口 土木作業員

大久保 土木作業員

戸田一郎（45歳）既婚。金森とは高校の同級生

アンナ キヤバクラ嬢

アキナ 真優に似たキヤバクラ嬢

面接官1、2、3

コンビニ店員1、2

ATM1、2

喫茶店店員

占い師

居酒屋店員

キヤバクラ店員

ブランドショップ店員
土木作業員

* 同時に発する

△ 前のせりふにくいぎみで

○ 登場しながら言う

■ 去りながら言う

この台本の無断転載・流用を禁じます。

上演をご希望の際は

必ず左記 東京タンバリンまでご連絡ください

東京タンバリン

090・6475・9699

tokyotanbarin@gmail.com

特別な舞台セットはない。
俳優が椅子やテーブルをセットし、場面転換をする。

【面接】

舞台上には椅子が一つ。

面接官の声 次の方どうぞ。

金森の声 失礼します。

金森入ってくる

面接官の声 どうぞお座り下さい。

金森 はい（椅子に座る）。

面接官の声 自己紹介をお願いします。

金森 はい。金森繁。45歳。前職、東事務機では営業を20年やっております。

面接官の声 転職の理由はなんですか？

金森 前職が自主廃業いたしましたので。

面接官の声 当社を志望する理由は何ですか？

金森 御社のサービスには他社にはない魅力があります。提供したら終わりではなく、始まりであり、お客様に寄り添い、声を聞くことです。それによってニーズを整理することができます。私は顧客増加に貢献したいと思えます。

面接官の声 フッフ（笑）

金森 え？

面接官の声 この面接で私、面接担当者の評価は何点ですか？

金森 え、あゝ、ひゃ、

面接官の声 ひゃ？

金森 あ、いや、点数はつけられません。

面接官の声 なぜですか？

金森 評価の対象としてみておりませんでした。

面接官の声 ふん。では、当社の理念、ビジョンについてどのように考えていますか？

金森 あ、えっと、お客様第一という理念について、

面接官の声 理念について？

金森 理念について、

面接官の声 理念について、

面接官1、2、3登場

面接官1 当社にどの程度転職先としてのプライオリティを置いていますか？

金森 それは勿論、

面接官2 当社の志望順位は何番目ですか？

金森 一番です！

面接官3 10年後、この業界はどうなってると思いますか？

金森 10年後、

面接官1 この職種の仕事をして将来どうなりたいですか？

面接官2 残業や休日出勤は大丈夫ですか？

面接官3 志望企業を選ぶ基準は何ですか？

面接官1 あなたにとって仕事とは何ですか？

面接官2 仕事をするうえで大切にしていることはありますか？

面接官3 か？

面接官3 どんな時に仕事のやりがいを感じますか？

面接官1 希望の年収は？

面接官2 あなたにとって仕事とは何ですか？

面接官3 お金の為ですか？

面接官1 生活の為ですか？

面接官2 ステイタスの為ですか？

面接官3 これまで最も厳しかった仕事は何ですか？

面接官1 誇れる実績はありますか？

面接官2 周りの人はあなたをどう評価してると思いますか？

面接官3 あなたにとって仕事とは何ですか？

答えられない金森。

面接官たちいなくなる。

疲れきった金森。

金森 はぁ（溜息）。

場面転換 カウンターセット

【コンビニ】

カウンターに店員二人

*店員1 いらっしやいませ（中国訛り）。

*店員2 いらっしやいませ（中国訛り）。

金森、ペットボトルを持ちカウンターへ行くと隣で会計をしているさえない男（荒木）。店員1は荒木の買ったカップラー

メンを袋に入れている。

店員1 （荒木に） 145円です（袋に入れ）箸いりますか？

荒木 いらぬ。

△店員2（金森に）ポイントカードお持ちですか？

金森 いや。

店員2 115円になります。

金森、財布から120円を出し店員2へ

店員1 何？どしました？

荒木 5円が、
店員2 （レジから5円受け取り金森に） 5円のお返しです。

店員1 5円がどした？

金森 え？
店員1 お客さんじゃないよ、こっちのお客さん。5円どした？

荒木 ない。

店員1 5円がない？

金森 あの、どうぞ、

荒木 いやいやいやいや。

金森 ちようど今5円おつりもらったんで。

荒木 いやいやいやいや、それは、あなたのお金ですから。

金森 5円だし、いいですよ。

荒木 5円を笑うと5円に泣きますよ。

店員1 笑ってないよ、この人。ねえ。

金森 ああ。いいですよ、これもご縁ということ。

店員1 うまいこという！

店員2 いいんじゃないの。

店員1 人の好意をぶにしない方がいいよ。

店員2 「む」だよ。

店員1 あ？

店員2 「む」。

荒木 やめます。買うの。

店員1 取り消しね。

金森 いいですよ、はい（渡し）。

店員1 取り消さないね、145円ちょうど頂戴した。

荒木 すいません。じゃあお借りします。

店員1 ありがとうございますー

金森、
去ろうとし

荒木 あの、連絡先教えてください。お返ししますんで。

金森 いいですよ。

荒木 いやいやいやいや。

△金森 いやいやいやいや。本当にいいですから。これが1

000円だったら返して欲しいですけどね。

荒木 （スマホを出し）お名前は？

金森 本当にいいですから。

荒木 お名前。

金森 ……かなもりです。

荒木 かなもりさん。下の名前は？（スマホに登録していく）

金森 しげるです。

荒木 （名前を登録し）連絡先いれてもらっていいですか？

金森 いや、本当にもう。

荒木 お願いします（スマホを渡し）。

金森 いやいやいやいや。

荒木 お願いします。

金森 ……（しぶしぶ受け取り入力して渡す）

荒木 ありがとうございます。必ずお返ししますんで。

金森 本当にいいですから。

△荒木 ありがとうございます。失礼します。

荒木、
去り

店員1 いいことしたね。

金森 そうかな？

店員1 あの人助かった。いいことしたよ。

金森 じゃ、よかった。俺も金おろさないと。ATMは？

店員1 そこ。

金森 ああ。

ATM1登場（人間）

財布からカードを出し、ATM1に入れる（渡す）

金森 三万おろしとくか。

ATM1 残高不足です（カード返す）。

金森 えー！うそだろ。

ATM1 本当です。

金森 残高いくら？（カード渡す）

ATM1 0円です。

金森 えー！！なんで。

ATM1 さあ。

金森 じゃ、こっちのカードで、三万円（カード交換）。

ATM1 残高不足です。

金森 うそだろ。

ATM1 本当です。

金森 ちよつとちよつとなんで？残高は？

ATM1 36円です。

金森 なんで！？

ATM1 さあ。

金森 なんかの間違いだろ。

ATM1 間違いではありません。

金森 だっておろしてないのに。

ATM1 間違いではありません。

金森 なんで？

ATM1 間違いではありません。

金森 わかったよ！（カード受け取り、茫然）

店員たち楽しそうにしゃべって（笑って）いる。金森が見ると、しゃべるのを（笑うのを）止める。

金森、店を出る。

*店員1 ありがとうございますー

*店員2 ありがとうございますー

金森 え、うそ・・・

【妻と娘】

金森 ただいま。

真優 おかえり。

金森 お母さんは？

真優 いるよ。留学なんだけど、ローマにする。フィレンツ

ェと迷ったけど、全ての道はローマに通ずっていうで

しよ。（いきなりサンタルチアをイタリア語で歌いだす）

♪スルマレ ルツチカ ラストウロ ダルジエント

プラチダ ロンダ♪ってこれはナポリの歌だっつーの

ー。どうしたの？

え？

真優 なんか顔色悪いよ。

金森 そうか？

真優 （顔を見て）顔色っていうか表情？沈んだ、沈痛な、沈

鬱な、なんつうか、そんな顔。

金森 そうか？

真優 全財産失くしてしまったって感じ。

金森 （驚きやら色々で）えごどらっ！

真優 え？何？何語？

金森 いや、そんな顔してるか？

真優 仕事決まらなくて焦ってるんじゃないの？

金森 そんなこと（ないよ）。

真優 （遮り）大丈夫だよ。今まで、にじゅううん年？働きつ

ばなしだったんだから、少しはゆっくりしてき、探せ

ばいいんじゃない。

場面転換 金森家のテーブルとイスセット。真優がいる

*金森 うん。

*真優 (サンタルチアのさびを歌いだし、金森の返事はほとんど聞こえない) ♪ ヴェニテ アラツジレ バルテ

イエッタ ミア サンタルチア♪

着飾った陽子、鞆を持ってやってくる

陽子 真優、うるさい。

真優 気分はもうイタリアだから。

陽子 まだ先でしょ。

金森 その話なんだけどちよつと待ってくれないかな。

真優 どういうこと？

金森 うん、ちよつと待って欲しいんだよ。

真優 留学できないってこと？ローマが高いならフィレンツ

エでもいいよ。

金森 うん。

真優 (遮り) お父さん一年ならいいって言ったよね。留学

するのなら若いうちがいいって言ったよね。今更やめられないから。私絶対行くから。

金森 うるせえっ!!

真優 ……。

金森 ちよつと静かにしてくれよ。

真優 ……。

真優、去る

陽子 どうしたの？

金森 でかけんのか？

陽子 高校時代の友達と飲み会。前から言ってたよ

金森 そうだっけ？

陽子 言いました(鏡をみながら)ね、私、劣化してない？

してないよね？

金がなくなった。

金森 え？

陽子 銀行の金が。

金森 なんで？！

陽子 ミツホシ銀行の残高が0。

金森 (遮り)ゼロ!?なんで!?

陽子 わかんね。マルトモも。

金森 あ、

陽子 何？

金森 マルトモは、お母さんの(施設の)入所金、今日振り

込んだから。振り込むって言ったよ。前から言ってた

陽子 よね？

*金森 ああ、そうか。

*陽子 なんで?なんでミツホシ、0なの?えー!ー!

金森 うるせえ!

陽子 ……。

金森 ……。

陽子 詐欺だよ。詐欺じゃない?メールで暗証番号とか(送

ってないよね)。

金森 (遮り)あ!(スマホを出して、メールを見る)

陽子 うそでしょ。

金森 何か。

陽子 (スマホを取り上げ、読み)

金森 銀行からのメールだとばかり。

陽子 気づくでしょ。

金森 気づかなかった。

陽子 よくある手口でしょ、これ。気づいてよー

金森 しようがないだろ。

陽子 しようがないじゃすまないでしょ。貯金0ってことだよ。どうすんの?!家のローン?真優の学費?毎日

のご飯?給料入ってこないんだよ。

金森 入れるよ。

陽子 無職じゃん。

金森 仕事みつけるさ。

陽子 いつ?決まるまでの間どうするの?!

金森 おい!冷静になってくれよ。

陽子 冷静でいられるわけじゃないでしょ。

金森 借金ができたわけじゃないんだから。

陽子 呑気すぎる。家族のこと考えてよ。

金森 警察。警察に連絡。

陽子 あーあ、15年ぶりだったのに。友達と会おうの。

金森 行ってこいよ。

陽子 行っても楽しくないよ。夫は無職、貯金はゼロ。

金森 関係ないだろ。

陽子 はー(溜息、スマホを出し)あ、(声色を変え)ごめん、今日行けなくなっちゃった。母親の具合が悪くてね(電

話しながら去っていく)。

金森、スマホで警察に電話をかける。

金森 もしもし、私、

場面転換 テーブルとイス移動

【喫茶店】

荒木がやって来る。

荒木 遅くなって申し訳ありません。

金森 ああ、僕も来たばかりなんで。

荒木 お呼び立てして申し訳ありませんでした。

店員、金森の注文したコーヒー持つてくる。

店員 コーヒー、お待たせしました。

荒木 先日はありがとうございます。

金森 いえ。

店員去らずにいる

金森 あ、なんか(頼んで下さい)。

荒木 私もコーヒーを頼んでいいですか?

金森 どうぞ。

荒木 お腹がすいてるので、何か食べてもいいですか?

金森 どうぞ。

荒木 じゃ、カレーを。

店員 コーヒーは先にお持ちしますか？
荒木 はい。

店員、去り

荒木 (5円を出し) 五円お返しします。ありがとうございます
ました。

金森 わざわざ、よかったのに。

荒木 実は、お願いしたいことがあります。

金森 なんです？

荒木 金森さん、ご家族は？

金森 妻と娘が。

荒木 そうですか。ご両親は？

金森 亡くなりました。

荒木 そうなんですか。

金森 なんです？

荒木 あ、いえ。

金森 お願いって、なんですか？

荒木 はい。私は母と二人暮らしなんです。母の介護をしていて、生活保護を受けています。まあ、それでなんとかやれているのですが、厳しい時もあります。

金森 はあ。

荒木 次の入金まで1週間あるんですが、今全く。

金森 まったく？

荒木 ないんです。それで、大変に、本当に大変に申し訳ないんですが少しばかりお借りできないでしょうか？入金ありましたらすぐにお返しします。

金森 すいません、それはちよつと。
荒木 (土下座) お願いいたします。どうかお願いいたします！

店員、コーヒーを持ってやってくる

店員 (やや訝りながら) コーヒーお待たせいたしました
金森 荒木さん、やめて下さい。座して下さい。

荒木、席に戻り

金森 僕も今、お金に困ってるんですよ。

荒木 そうなんですか？

金森 ですからお貸しできません。

荒木 そうですか。

金森、コーヒーを飲む

荒木 あ、コーヒー代。このコーヒー代お借りできますか？

金森 え？本当に全くないの？！

荒木 はい。全く。

金森 カレー頼んでませんでした？

荒木 あっ！お腹がすいててつい。キャンセルします。(店員に) すいません！！

店員やつてきて

荒木 カレー、キャンセルできますか？

店員 もう、できますけど。

荒木 キャンセルしてください！

店員 (納得いかないけど) かしこまりました。

金森 (財布の中を見て) 僕、今7352円しか持ってません。これが僕の全財産なんです。でも2000円貸しますよ。

ますよ。

荒木 え！？本当ですか？！

金森 2000円しか貸せません(二千円渡し)

荒木 いいんですか？

金森 だって、全くないんですよ。

荒木 (二千円受け取り) ありがとうございます！ありがとうございます！

うございます！！来週、必ずお返しします！！

荒木去る

真優

陽子

金森

真優

金森 おはよ。

真優 おはよ。

金森 留学の件、ちょっと待ってくださいよな。

真優 行けないとかありえないから。もうみんなに言っちゃ

たし、今更、

金森 (遮り) ♪サンタルチア。わかったから。

陽子

金森

真優

陽子 真優、ごはん。

真優 (遮り) もう行くからいい。

陽子 違うの、夜ごはんだけ。

真優 何？

陽子 今日から6時まで仕事することにしたの。

*真優 そうなんだ。

*金森 なんて？

陽子 社員の人が急に一人辞めちゃってね。

真優 わかった。適当になんか食べておく。

陽子 ごめん。

真優 ノープロブレム。

陽子 それと、留学なんだけど。

金森 (遮り) 真優、いいのか？時間。

真優 何？

金森 早く行きなさい。

真優 何？お母さん。

陽子 ふうん。

真優 じゃあ、行ってきます。

真優、去る

金森 金のこと、真優にはまだ言うなよ。

陽子 なんて？

金森 不安にさせたくないんだよ。

陽子 何言ってるの？なくなったお金戻ってこないんだよ。

金森 俺の保険解約するか

陽子 なんの？生命保険は解約して掛け捨てのに変えたじゃない。

金森 あ、そうだったか。

陽子 保険なんか頼らなくても、お前ら二人くらいなんとかできるからって、言ってたからね。

金森 そうだったか。

陽子 はい。

金森 お前の口座と真優の口座は？いくらある？

陽子 私の口座はバイト代だけ、真優の口座には手をつけたくないから。

金森 そんなこと言ってる場合か？

陽子 それより、留学は無理でしょ。早く言った方がいいよ。

金森 行かせてやりたいんだけど。

陽子 そんなこと言ってる場合か？どう考えても来年は無理でしょ。

金森 お義母さんの入所金さ、

陽子 無理！

金森 なんだよ、何が無理なんだよ。

陽子 もう払ったし、お姉ちゃん達には甘えられないから

金森 姉妹（きょうだい）だろ。

陽子 てゆうか、人に頼らないで、まず私たちでなんとかしない？

金森 お前、時給いくら？

陽子 1100円。

金森 一日7時間で7700円かける二〇日だとして、、た

陽子 いったことねえな。
ちっ（舌打ち）。

金森 なんだよ。

陽子 行ってきます。

金森 おお。

陽子 時給1100円の仕事に。

陽子、去る

金森、スマホを見て仕事を探す

【清掃バイト】

年配の清掃員原田やつてくる。

原田 やあ、どうもどうも。あーた（あなた）かね、新人さん

んは？

金森 あ、はい。金森と申します。

原田 どうもどうも。クリーンサービスの原田と申します。

あーた、こういう仕事は初めて？

金森 はい。

そうですか。ま、すぐに慣れますからね、大丈夫です

よ。今日は簡単なことからやつてもらいますから。

はい、よろしくお願いします。

原田 あーた、副業？って感じじゃないね。リストラ？あー、

いーのいーの無理に聞くつもりはないから。ま、リストラや、会社がつぶれちゃったとかね、そういう人よく来ますよ。

金森 そうなんですか。

原田 プライドはゴミと一緒に捨てちゃってください。

金森 え？

原田 冗談冗談。時々いるんですよ。前に勤めていた時のク
ライアントと会っちゃってみじめな思いしたから辞
めるとかってね。なーにがみじめなんだろう？ね。

金森 ああ。

原田 なんつって、わからなくもないけど。誇りを持たない
と。あー誇りってごんべんの方のな、ってわかってる
か。あーた、頭よさそうでもないな。
金森 よくないです。

清掃員佐竹やってくる

佐竹 遅くなりましたすみません。クリーンサービスの佐竹
です。金森さんですね。よろしくお願いします

金森 よろしくお願いします。

佐竹 原田さんはいつもの作業お願いします。

原田 はい。

佐竹 原田さん、明日どうになりました？

原田 ごめん、ブランコ入っちゃって。

佐竹 了解です。

原田、去り

佐竹 金森さん、明日の早朝空いてますか？

金森 明日ですか？

佐竹 6時から8時。隣のビルの清掃なんですけど。

金森 (曖昧な) ああ。

佐竹 ありがとうございます！お願いします。

佐竹 じゃ、今日は私と一緒に。次からお一人でお願いしま
す。

金森 次って、明日？

佐竹 あ、そうなりますね。お願いします。難しい作業じゃ
ないから大丈夫ですよ。じゃ、あちらに。

金森 はい。

■金森 原田さんはアルバイトなんですか？

■佐竹 そうです。

■金森 ブランコって？

金森、佐竹、去る

【金森家】

陽子 酔っぱらって帰宅

陽子 ただいまあ。って誰もいないの？

真優、奥から出てくる

真優 おかえり。

陽子 お父さんは？

真優 寝てる。

陽子 寝てる！？こんな時に寝てるのか！？

真優 こんな時って？

陽子 飲むのも仕事のうちでさ、好きで飲んでるわけじゃな
いんだよ。

△真優 聞いてない。ねえ、こんな時って何？なんかあった？

陽子 う、だ。

真優 何、うだつて。

陽子 うちのお金なくなっちゃったんだよ。

真優 お金つて？

陽子 貯金。

真優 え？！

陽子 ぜーんぶ無くなっちゃったの。

真優 なんで？！

陽子 どうする？これから？

真優 どうするって、

陽子 働かなきゃ。働いて、働いて、あー（テーブルに突っ

伏し）。

真優 えー。あ、それで留学のこと？てゆうか留学どころじ

ゃないじゃん。

陽子 （突っ伏したまま）

真優 ねえ、お母さん。

陽子 （突っ伏したまま）

真優 お母さん。

陽子 （突っ伏したまま）

真優 もう。

真優、去る

陽子は寝たまま

【清掃バイト】

作業着の金森

作業着の原田やってくる

原田 どーもどーもクリーンサービスの原田です。

金森 はい。あの昨日。

原田 金森さん、忘れっちゃいないよ。昨日のことだもの。

金森 ブランコは？

原田 雨で延期よ。ブランコちゅうのはビルの窓の清掃で、

ロープにブランコつけて清掃するからブランコちゅうの。

金森 あ、昨日、佐竹さんに聞きました。それって専門職で

すよね？

原田 講習受ければ誰でもできる。

金森 そうなんです。普通の清掃業より給料いいんです

か？

原田 あーた、今晚は？

金森 え？

原田 暇ですか？という質問です。

金森 この後、仕事があります。

原田 他のビルかい？

金森 いえ、他の仕事です。

原田 そーかい。じゃまたの機会に。

金森 時間があったらなんでしょう？

原田 飯でも一緒にと考えたけど。

金森 ああ。

原田 またの機会に。

金森 はい。

原田 まだ時間あんね。コーヒーでも（ポケットを探り）あ

原田 れ？

金森 どうしました？

原田 財布が。

金森 え？

原田 あれー？金森さん、忘れた。

金森 はい。

原田 悪いけど、金、ちよつと貸してくれんかね？

金森 え？

原田 金ないと帰れんわ。

金森 来るときは？

原田 スイカ。スイカがもう残金ないんだわ。

金森 俺も、あんまり持つてなくて。

原田 千円でいいから。

金森 千円？

原田 うん。

金森、財布を出し中を見る

原田 すぐ返しますから。私はね、人から物借りて返さない奴ちゆうのが嫌いだね。今まで大事なものを貸して返ってこなかったことが何度あったことか。だから私はそんなこといたしません。

金森、千円を出し

原田 悪いね。じゃ、始めつか。

金森 はい。

■原田 作業は覚えたかい？

■金森 はあ、まあ。

■原田 なんだその、はっきりしない返事は。

原田、金森去る

【金森家】

寝ていた陽子、起きる。

陽子

は！え！？（鞆からスマホを出し時間を見る）あー（寝坊した）どうしよ？（会社に電話をかけ）あ、おはようございます。金森です。すみません、ちよつと体調が悪くて、たいしたことないんです。今日の、はい、直接行きますので。よろしくお願いしますう。（電話切る）やばっ！

陽子、急いで去る

【土木作業】

現場

清掃業とは違う作業着を着てヘルメットを被っている金森
同じ作業着を着た矢口やって来る

矢口 金森さん、ここの物移動したら飯休（めしきゆう）です。

金森 はい。

二人、物を移動しながら

矢口 朝の仕事って何やってるんですか？
金森 清掃です。
矢口 時給いいんすか？
金森 千円。
矢口 安っ！早朝なのに安くはないっすか？
金森 初心者だから。
矢口 金の為に働いてるわけじゃないんですか？
金森 金の為、金の為、金の為よー。
矢口 そんな言わなくても、わかりましたよ。
金森 今日なんか、2時間の仕事2千円の為に、交通費520円かけて、同僚のおっさんに千円貸して、480円労働だよ。そう思うとさあ。
矢口 なんでおっさんに千円貸すんすか。
金森 財布忘れたって言うから。
矢口 ほっときやいいじゃないっすか。その人にはなんか世話になったりしてんすか？
金森 いや。
矢口 そんなことしてると金たまんないすよ。
金森 うん。
矢口 金持ちってケチだから金貯まるっていうじゃないっすか。ケチにならないと。
金森 そうだよな。
矢口 もっと給料いい仕事ありますよ。
金森 そうだよな（昔の友人戸田を見つける）。
矢口 他になんかやってたんすか？
金森 そうだよな。

矢口 仕事、何やってたんすか？
金森 うん。
矢口 何見てんすか？
金森 うん。
矢口 金森さん！
金森 え？
矢口 誰？知ってる人？
金森 ううん、違う。違う人だった。
矢口 ふうん。
金森 本当だよ。
矢口 嘘だなんて言ってませんよ。
金森 あ、
矢口 じゃ、飯休で。
金森 はい。矢口さん、どうすんの？
矢口 弁当持ってきてるんで。
金森 愛妻弁当かあ。
矢口 いや、自分で。
金森 偉い！
矢口 愛妻って。
金森 （遮り）俺も次から弁当にしよ。節約しないとな。
矢口 伝授しましょうか？
金森 え？
矢口 節約生活。おいら、1日300円なんです。
金森 えーっ！
矢口 300円もほぼ使ってませんけど。
金森 うっそ。
矢口 1ヶ月の家賃、光熱費、食費、諸々は8万円以内で。残

金は貯金してます。

金森 いくら貯金してんの？

矢口 言えませんかよ。

金森 あのさ。

矢口 貸せませんかから。

金森 なんだよ。なんで貯金してんの？

矢口 趣味です。

金森 じゃあさ、

矢口 貸せませんかから。

金森 なんだよ。

矢口 店やりたいんです。

金森 なんの？

矢口 飲み屋です。

金森 へえ。

矢口 飲み屋のおかみになるんです。

金森 おかみ？

矢口 おいら、女なんすよ。

金森 え？あ、わかってたよ。

矢口 うっそー。

金森 だって、だって、こういう仕事しないでしょ女の人。

矢口 おいら女ですから。

金森 あ、はい。

矢口 おいら週末はココロって店でバイトしてますんで飲み

来て下さいよ。

金森 あ、うん。

矢口 ココロの親父にいいもん食わせてもらってるんで食い

物には不自由してないんす。

金森 へえ。300円生活はいつからやってんの？

矢口 もう、4年かな。

金森 で、いつまでやるの？

矢口 ま、もうちよっと。

金森 もうちよっとって？

矢口 わかんないっす。万馬券でも当たればなあ。

金森 競馬やんの？

矢口 あーはい。いつも100円だけ賭ける馬がいるんす

金森 何ていう馬？

矢口 秘密っす。

金森 教えてよ。

矢口 おいらの楽しみなんで。

金森 なんだよ。

矢口 飯食わないと、時間。

金森 あ、

矢口 駅前に牛井屋とか蕎麦屋とか。コンビニは。

金森 (遮り) うん、ありがと。

【金森家】

イタリア語を勉強している真優

真優 ペルファボーレリペータ (Per favore ripeta. 「もう一度

言ってもらえますか？」という意味) (繰り返し言うて
いる)。

金森、帰ってくる

金森 ただいま。

真優 おかえり。

金森 疲れたー。

真優 なんて？

金森 なんて？

真優 なんて？

金森 留学は、自分でお金貯めて行くから。

真優 え、え、え？自分で？

金森 バイトしてお金貯める。

真優 それじゃ、来年行けないだろ。

金森 来年行くのはあきらめる。

真優 いやいやお父さん、なんとかするから。

金森 いいよ。その代わり大学は卒業したい。させて下さい。

真優 わかった。

真優 ♪ヴェニテ アラツジレ バルティエッタ ミア サ

金森 ンタルチア〜 (歌いながら去って行く)。

真優 . . .

真優、顔を出し

真優 お母さん、会社の飲み会で遅くなるって。

金森 あ、うん。真優、ごめんな。(振り向くと) いねーし

真優 . . .

真優 . . .

【土木作業】

前のシーンとは別の日

金森 はあー。家売るかな？

矢口来ていて

矢口 金森さん、それどかして。

金森 あ、はい(穴周辺の物どかし)。

矢口 (穴の中を見て)あーはいはい(と何か確認している)。

金森 あ、こんな所にこんな(穴)あったんだ。

金森 家って戸建てっすか？

金森 うん。

矢口 上げえ。

金森 サラリーマンだったからね。ローンも早く返せてたんだけど。

矢口 返せなくなっちゃったんすか？

金森 見えない所に穴ってあるんだな。

矢口 そうなんすか。気をつけよっと。

金森 やっぱ売るしかないよな。

矢口 売っちゃっていいんじゃないすか。

金森 俺が買った家だよ！

矢口 でもそうするしかないんなら。

金森 ううう。

矢口 つか、手動かしてください。悩みなら新宿の母とか姉に聞いてくださいよ。

金森 ちよっと筋肉痛でさ。

矢口 金森さん、年いくつですか？

金森 45。

矢口 肉体労働厳しいんじゃないっすか？コールセンターっ

つうか、カスタマーセンターつうか、そういう事務系？のがいいんじゃないっすか？

そうかな。

矢口 若い頃からやってるならね、あれだけど、体もちませんよ。

金森 もう仕事変えたくないんだよなあ。

矢口 前の仕事に戻ればいいじゃないっすか。

金森 そりゃ戻りたいよ。でもそう簡単にいかないんだよ。

矢口 なかなか思う通りにはいかないっすよね。

金森 そうなの！それにもう面接がね。

矢口 面接？

金森 面接試験。

矢口 ああ

金森 落ちるたんびに無能だって言われてるみたいで、落ち込むわ。

矢口 通る人より落ちる人の方が多いでしょ。

金森 そうだと思っけど。

矢口 じゃ、金森さんだけが無能ってわけじゃないっすから。

金森 やっぱ無能じゃないか。

矢口 金森さん、逆境に強くないと。

金森 あ、うん。

矢口 戻りたいなら落ちても受けまくればいいじゃないっすか。

金森 うん。

矢口 愚痴ってないで行きやいいんすよ。

金森 うん。いつまでもこんな仕事やってられないしな。

矢口 こんな仕事ってなんすか？こんな仕事で金もらってん

じゃないんすか？！やっぱ、あんた無能だわ。嫌ならとつと辞めてくれよ。

矢口、去る。

金森、佇む。

【占い】

占い師やって来て、座る。

占い師 あなたの未来占いましょう。

金森 え？

占い師 あなた今とつてもついてないですね。

金森 あ、はい。どうすればいいんですかね？

占い師 教えてあげたい。

金森 教えて下さい。

占い師 料金がかりますがよろしいですか？

金森 いくらですか？

占い師 3000円。

金森 じゃ止めます。今、3000円なくて

占い師 特別に。まけましょう。2000円に。

金森 すいません。2000円もなくて。

占い師 2000円もないの？

金森 金に困ってるんで。

占い師 そうですか。

金森 じゃ(去ろうとし)

占い師 いくらならあるの？

金森 今、(財布の中を見て) 1005円しか。

占い師 じゃ、5円でみましょう。

金森 いいんですか？！

占い師 ええ。今日ここで、こうしてあなたとお会いできたのもご縁ということですから。そのご縁に感謝して。

金森 あ、はい。

占い師、金森の周りで指をばちばち鳴らし

占い師 あなた、負の感情をお持ちですね。やめよう、やりたくない、会いたくない、知りたくない、そういった負の感情をおこしてはいけません。せっかくのご縁が途絶えてしまいます。ご縁をつなげていくことで喜びが舞い込んできます。喧嘩別れしてしまった人や懐かしい人と会おうと楽しい時間が過ぎせるかもしれません。以上です。

金森 あ、じゃあ5円。

占い師 ご縁に感謝して。

金森 ありがとうございます。

占い師、去っていく

【金森家】

陽子の声 ただいまあ。

金森、ヘルメットなどを片付け、テーブルや椅子もセット

陽子、やつてくる

金森 おかえり。

陽子 ねえ、今月の支払いどうする？

金森 支払いって？

陽子 家の。

金森 ああ。

陽子 ああ、じゃなくてさ。

金森 家、売るか。

陽子 えーっ！

金森 俺たち3人には広いしき、真優だってそのうち出るだろうし。それにお前、庭の手入れ大変だって言ってた

陽子 だろ

陽子 嫌だ。売りたくない。

金森 ・・・。

陽子 あと少しでローン終わるのに。

金森 支払い、ちよっと待ってもらおうか。

陽子 待ってもらえるかな？

金森 連絡してみるよ。

陽子 銀行になんとかしてもらえないの？

金森 できないって。

陽子 なんで？

金森 銀行が悪いわけじゃないからな。

陽子 クッソ！！

金森、陽子が持ってた雑誌を取ると、

陽子 あ、それに、友達載ってたよ。

金森 誰？

陽子 戸田さん。

金森 戸田が？

陽子 なんかアプリつくってる会社の代表だって。

金森 戸田が？！

陽子 (雑誌をめくり、金森に渡す) これ。

金森 へえ。

陽子 結婚式来てくれたよね。

金森 昨日さ、

陽子 うん。

金森 ううん。

陽子 すごいね。

金森 あれ以来会ってないなあ。

陽子 おんなじ年なのに、

金森 なんだよ。

陽子 別に。

金森 金貸してくんない？

陽子 えー！？貸して欲しいのは私だよ。

金森 俺、千円しかないんだよ。

陽子 はー(溜息をつき、財布から千円だし)。

金森 千円だけ？

陽子 いくら？

金森、陽子のお財布を取り

陽子 ちよつと！

金森、一万円を取り

陽子 ヒモか！

金森 すぐ返すよ。

【居酒屋】

戸田と金森

店員 お待たせしましたー(ビールジョッキ2つ置き)。

金森 じゃ、久々に乾杯。

戸田 乾杯。

金森 (ビール飲み)あー、うめえ。

戸田 なんだよ、急に。

金森 結婚式の時の写真見てたらさ、お前と会いたくなって。

戸田 嘘だろ。

金森 本当本当。

戸田 お前、仕事は？変わらず？

金森 うん。変わらずサラリーマンですよ。

戸田 そっか。この前、お前に似た奴見てさ。

金森 どこで？

戸田 いや、違ったのか。

金森 お前は？まだ絵描いてんのか？

戸田 うん。今は趣味で。

金森 じゃあ仕事は？

戸田 俺もサラリーマンみたいなもん。

金森 へえ、お前がなあ。

戸田 奥さんは元気？

金森 うん。

戸田 子供は？

金森 娘が一人。大学生。お前は？

戸田 5年前に結婚して、子供は3歳と1歳。

金森 へえ。

戸田 な、こんな所じゃなくて、もっと違う店行かね？

金森 どこ？

戸田 行こう。すいません。

店員 やってくる

戸田 いくら？

店員 (計算し) 550円になります。

戸田 (お金渡し) 釣りはいいから。

店員 ありがとうございます！

金森、戸田、店を出る。

金森 今日は俺が誘ったんだから俺がおごるよ。

戸田 いいよ。

金森 いやいや。次の店は俺におごらせてくれって。

戸田 わかった。

【キャバクラ】

店員 いらっしやいませ。

戸田 空いてる？

店員 はい。申し訳ございませんが、いつものお席が、今日
はご予約が入っております。

戸田 いいのいいの。

店員 よろしいですか？ではそちらにどうぞ。

二人、席につき

店員 コースはいつもの？

戸田 うん。

店員 かしこまりました。

店員 去り

金森 常連なんだ？

戸田 ああ、まあ。仕事関係の人とな。

金森 ふうん。

アンナ、やってくる

アンナ 戸田さん。いらっしやいませ。

戸田 あれ、アンナさん空いてるなんて珍しい。

アンナ 空けておきました。戸田さんが来るような気がして。

戸田 またまた。

アンナ フッフ(笑)(金森に)はじめまして、アンナです。

金森 金森です。

戸田 高校の時の友達。

アンナ あら、いいですねー。子供の頃からのお友達ですか。
戸田 うん。

アキナがボトル(シャンパン)を持って店員はグラスなど持ってやってくる

アキナ 戸田さん。今日もボトル*あつりがとございます。

*店員 あつりがとございます

金森 真優。

戸田 まゆ？

アキナ 誰ですか？誰かに似てますか？

金森 あ、うん。

戸田 誰？

金森 知り合いの子。すいません。

アキナ いーえ。私、誰かに似てるってよく言われるんです

店員 ボトル開けてきますね(アキナからボトル取り開けに行く)。

戸田 開けちゃって開けちゃって。

アキナ アキナです。はじめまして。

金森 金森です。

アンナ 高校時代は何かやってたんですか？

戸田 ううん。

アンナ 帰宅部ですかあ。

戸田 うち母子家庭でさ、母親、仕事で帰ってくるのが遅かったから、たまり場になってたんだよね。

アンナ 悪い事してたんじゃないんですか？

戸田 してませんよお。

アンナ 本当ですかあ。

戸田、席を立ち

アンナ あら、逃げるんですか。

戸田 トイレ。

アンナ いったらっしゃいませ。

アキナ 何してたんですか？

金森 え？

アキナ 戸田さんの家で。

店員やってきて

店員 アンナさん、ちよっといいですか。

アンナ すいません、ちよっと失礼します。

金森 ああ。

アンナも席を立ち

アキナ 高校生の時って何が流行ってました？

金森 なんでここで働いてるの？

アキナ え？

金森 金のため？

アキナ どうしてですか？

金森 辞めなさい。若いんだから。

アキナ え？

金森 もっとちゃんとした仕事した方がいい。

アキナ ちゃんとした仕事だと思ってます。

金森 水商売なんか辞めなさい。

アキナ 私、この仕事好きなんです。

金森 嘘つけ。

アキナ 嘘じゃありません。

金森 親は知ってるの？

アキナ はい。

金森 反対されただろ。

アキナ 初めた時は。でも今は理解してくれています。

金森 今だっしてないよ。

アキナ 偏見ですよ。私はこの仕事が好きです。お客さんが楽しんでくれると自分も楽しくなるし、やりがいを感じます。

△金森 娘がこんな仕事してたら、

△アキナ こんな、ってひどい、こんな店に来てるじゃないですか！

店員、開けたボトルを持ってやってくる

店員 どうしました？

アキナ 金森さん、チェンジご希望ですって。

金森 いやいやいや。

店員 アキナちゃん？

金森 私、言ってみせよ。

アンナ、やってくる

アンナ あれ？どうしました？

アキナ 失礼します。

アンナ アキナちゃん？

アキナ去り、店員追う

アンナ アキナが何か失礼しましたか？

金森 いえ。

戸田、戻って来る

戸田 乾杯しよーぜ。

金森 俺、帰るわ。

戸田 は！？まだ一口も飲んでないのに？

アンナ そうですよ。さ、どうぞ。

アンナ、ボトルからグラスに注ぎ

アンナ お二人はよく会ってるんですか？

戸田 いや、何年ぶりだ？

アンナ じゃあ再会に乾杯ですね＊かんぱーい。

*戸田 かんぱーい

3人で乾杯する

戸田 これ、(酒) うまくない？

金森 え？ああ。

アンナ 最近の戸田さんのお気に入りです。

金森 へえ。

戸田 さっきのビールまずかったなーありや、ビールじゃないな。

金森 さっきのビール一杯300円しないだろ。これいくらだよ？

戸田 値段で味わってないけど。

アンナ そうですよ。うっすいビールでも仕事の後は美味しく感じるもの。

金森、グラスを飲み干し、入れる

戸田 おー飲め飲め。

金森、戸田、アンナ、飲みまくる。

3人が飲んでる間、空いたボトルを下げては新しいボトルを持ってくる店員。以上のシーンを早送りの動きで表現。通常の動きに戻り。

戸田 そろそろ行くか。

金森 うん。

アンナ 車呼びますか？

戸田 ううん、いい。

アンナ かしこまりました。

アンナ去り

金森、いつもこんな風に飲んでるのかと羨望やら嫉妬やらの

複雑なまなざしを戸田に向け

戸田 なんだよ。

金森 結構飲んだ。

戸田 そうか？

金森 お前は、よく飲んでるんだろうけど。

店員やって来て

店員 ありがとうございます。

店員、会計の書いたメモを戸田に渡し、それを金森取る

金森 俺、払うよ。

戸田 いいよ。

金森 払うって言っただろ。

戸田 いいよ。

金森 いいって。カードで（カード渡し）。

店員 かしこまりました。

戸田 接待費で落とすのに。

金森 いいよ。

戸田 ごちそうさまでした。

金森、メモを見ると数十万の金額でびっくりするが、平然を装う。

店員とアンナやってきて。

店員 金森様、こちらご署名を。

金森、署名し、店員、明細を渡す。

戸田 そう言えばアキナちゃんは？

アンナ 体調悪くて今日は。

戸田 ああ、そうだったんだ。

アンナ すいませんでした。

店員 どうもありがとうございます。

アンナ またお待ちしております。

二人、店を出る（店員とアンナがいなくなる）

戸田 ごちそうさまでした。

金森 いえいえいえ。

戸田 お前さ、なんか話あったんじゃないの？

金森 うん……。

戸田 なんだよ。

金森 実はさ。

戸田 うん。

金森 俺、詐欺にあつてさ。

戸田 え？！

金森 貯金全部。

戸田 まじで！？

金森 まじで。

戸田 警察と銀行には？

金森 言った。

戸田 だよな。

金森 被害届は出したけど、金は戻ってこない。

戸田 だよな。他に口座は？

金森 あるけど、たいしてなくて。

戸田 まじか。

金森 それで、お前に頼みがあつて。

戸田 金か。

金森 うん。家のローンと娘の学費が、すぐ払えなくてな。

戸田 俺もないんだよ。

金森 え？

戸田 お前に貸せる金が。

金森 すぐに返すから頼むよ。

戸田 お前、俺が今何やってるか知ってんだろ。知らなかつたら来ないはずだもんな。

金森 なんで？

戸田 忘れちゃったの？俺たちが会わなくなった理由。

金森 え？

戸田 覚えてないか。母親の葬式以来だよ。

金森 そっか。そう言えば。

戸田 あの時、俺まだ絵描いてバイトしてた。母親と二人ギリギリの生活で、貯金なんかなかったし、頼れる親戚

もいなかっただよ。それで葬式代がなくて、

あ、

お前、なんて言ったか覚えてる？

戸田 うん……。

金森 返せるあてがない奴に貸せないって。

戸田 言ったな。

金森

戸田 いや、そりやそうだよ。どうなるかわからないフリーターだったから俺。

金森 どうしたんだよ？

戸田 消費者金融で借りたよ。

金森 そうだったんだ。俺、なんとかなるだろうって、誰かに借りられるだろうって、てゆうかお前と変な関係に（遮り）もしいいよ。済んだことだから。でもお前には貸せないわ。

金森 ……わかった。

戸田、去る

金森、佇む。

【ATM】

金森歩きだすと、ATM2現れる。

財布からクレジットカードを出し、ATM2に渡す

ATM2 ご返済でしょうか？お借入れでしょうか？

金森 借入。

ATM2 かしこまりました。金額は？

金森 えーっと。どうしようか…。

ATM2 金森様なら現在限度額300万円まで上げることができますが、いかがでしょうか。

金森 お願いします。

ATM2 かしこまりました。本日のお借入れ金額は？

金森 じゃ、300万で。

ATM2 申し訳ございません。私、ATMからは1回100

万までしかお貸しすることができません。そうなんだ。

ATM2 数回にわけて出していただくか。

金森 （遮り）じゃ、とりあえず100万。

ATM2 かしこまりました。ご返済回数はいくつ？

金森 あー、じゃ24回。

ATM2 かしこまりました。100万円。24回で承りました（お札と封筒を渡し）どうぞ。

*金森 ありがとうございます。

*ATM2 ありがとうございます。

スマホを出し、電話に出る（荒木からの電話）

金森 もしもし？あー、はい。わかりました。じゃこの前の25店で。

転換

【喫茶店】

荒木がいる。

金森、店に入る。

荒木 お呼び立てして申し訳ありません。

金森 いえ。

店員やって来て

店員 いらつしやいませ。

金森 ホットコーヒー。

店員 かしこまりました(去り)。

荒木 今日はコーヒー代、金森さんの分も私が支払いますので。

金森 ありがとうございます。

荒木 とんでもございません。お礼を言うのは私の方ですから。二千元。お返します。ありがとうございます。

金森 二千元で間に合ったんですか？

荒木 はい。大変助かりました。ありがとうございます。

金森 お金ってなんなんですかね。

荒木 え？

金森 あの時、戸田に貸してたら変わらず付き合ってたのかな。

荒木 戸田さんていうのは？

金森 すいません、なんでもないです。

荒木 お金は、生きていく上でなくてはならないものですね。

金森 そうですね。

荒木 金森さん。

金森 はい。

荒木 実は、

金森 金ですか？

荒木 はい。母がもう随分と悪くてですね、亡くなる前に紅葉を見せてやりたいのです。

金森 どっか、行くんですか？

荒木 はい。

金森 行けるんですか？

荒木 介護士の方が同行してくれるツアーがありました。ド

リームアゲインツアーと言いました。

金森 夢再びか。

荒木 ホテルは月野リゾートで、部屋のベッドからお庭の紅葉を楽しめるんです。

金森 へえ。色々考えるもんですね

荒木 是非母を連れて行きたいのですが、料金が高くて、とても私には。それで、大変に、本当に、

金森 (遮り) いくらですか？

荒木 私と二人で68000円。

金森、金の入った封筒を出し、金を数える

荒木 は！(びっくりし)

金森 俺の金じゃないんです。

荒木 え！？

金森 冗談です。

店員、コーヒー二つ持つてくる

店員 お待たせしました。

金森 7万円お貸しします。

荒木 ありがとうございます。申し訳ないですが、返済は少しずつになります。

金森 わかりました。

荒木 ですが、必ずお返しいたします。

金森 はい。

荒木、お金を持って去る。

【金森家】

朝

陽子 やって来る

陽子 ご飯は？

金森 いらぬ、もう行くから。

陽子 いつから（仕事）してたの？

金森 まだ2、3回だよ。

陽子 ずるずる続けないでよね。

金森 わかつてるよ。これ（お金を渡し）家のローンと学費。

陽子 どうしたの？

金森 借りたんだよ。

陽子 誰に？

金森 心配すんな。

陽子 ありがとう。よかったー。

金森 じゃ、行くわ。

陽子 あ、私ね、社員になることにしたの。ボーナスも少し

だけど出るし。

金森 わかった。

陽子 残業で遅くなるのが多くなると思う。

金森 残業じゃなくて飲み会だろ。

陽子 残業ですう。時々飲み会。

金森 わかったよ。

陽子 行ってらっしゃい。

【土木作業】

金森、ヘルメットを被る

大久保 やってくる

大久保 金森さんすか？

金森 はい。

大久保 今日はわしとペアで。

金森 はい。よろしくお願いします。

大久保 ここの物移動します。

金森 はい。あの、矢口さんは？

大久保 蛇口？

金森 やぐち。

大久保 やぐちね。ちよつと耳がね。矢口さん、知ってますよ。

時々一緒になります。

金森 今日は？

大久保 え？表？

金森 きょう、本日。

大久保 ああ、本日はね。見てないです。

金森 そうですか？

大久保 何が？

金森 そうですかと言いました。

大久保 あ、そうですか。やっべーな。病院行った方がいいで

すよね。

金森 そうですね。

大久保 矢口さんてココロの人つすよね？

金森 そう。店の場所知ってます？

大久保 知ってます？

金森 ややや、こつちが聞いてるんですけど。

大久保 店の場所知ってますよ。行きます？今日？

金森 矢口さんいるの週末ですよね。

大久保 そっか。いねーな今日は。あのあの知ってます？

金森 何？

大久保 矢口さん、女なんすよ。

金森 知ってます。

大久保 まじかー「おいら」とか言ってるから男かと思っただけど、じゃ次あっちやります。

金森 はい。

【ATM】

金森、ヘルメットを取り

ATM2 やってくる

ATM2 ご返済でしょうか？お借入れでしょうか？

金森 借入。

ATM2 かしこまりました。金額は？

金森 100万。

ATM2 かしこまりました。ご返済回数はいくつですか？

金森 24回。

ATM2 かしこまりました。100万円。24回で承りました。

(お札と封筒を渡し) どうぞ。

金森 (受け取り)

ATM2 ありがとうございます。

ATM去る

【キャバクラ】

座ってアキナが来るのを待つ金森

アキナ いらっしやいませ。

金森 この前はすいませんでした。失礼な事言っただけで、

アキナ こちらこそ。また来てくださると思わなかったので、嬉しいです。

金森 本当に？

アキナ はい。

金森 怒ってない？

アキナ はい。お飲み物、セットメニューのものでいいですか？28

金森 ボトルいれます。この前の。

アキナ あっりがありがとうございます！ボトル入りました。

店員 やってくる

店員 ありがとうございます！

店員去り

金森 アキナちゃんが娘に似てたから、ついあんなこと言っちゃって。

アキナ そうなんですか。娘さんおいくつなんですか？

金森 19歳。

アキナ そうだったんですね。

金森 お詫びに何か買ってこようかと思っただけど好みはわからなくて。

アキナ そんなあ、来て下さるだけで嬉しいですよ。

金森 化粧品やアクセサリー、好きなブランドあるでしょ？

アキナ はい。

金森 どこ？

アキナ シヤネルとかティファニーとかグッチ、カルティエ、デイオール、プラダ、ボッテガヴェネタ。

アキナがブランド名を言ってる間に金森ブランドショップへ

【ブランドショップ】

ブランドの袋を持った店員

店員 いらっしやいませ。こちら限定商品になりました、残り1点となっております。

金森 じゃ、それを。

店員 かしこまりました。お支払いは？

金森 現金で（店員に金を渡し）。

店員 （金森に袋を渡し）ありがとうございます！。

金森、ブランドの袋を持ってキャバクラへ

【キャバクラ】

金森、ブランドの袋をアキナに渡し

アキナ えー、いいんですか？

金森 アキナちゃんが好きなブランドだけど気にいってもらえるかどうか。

アキナ ありがとうございます。（袋の中を見て）あーこれ欲しかったです。すっごい嬉しい！

金森 よかった！

アキナ これ限定商品で、どこに行ってもなかったのに、金森

さんすごい！

金森 すごくないよ。

アキナ あ、お飲み物どうします？

金森 ボトルで。

アキナ ありがとうございます！

【ATM】

ATM2 やってくる。金森ATMへ

ATM2 ご返済でしょうか？お借入れでしょうか？

金森 借入。

ATM2 かしこまりました。金額は？

金森 100万。

ATM2 かしこまりました。ご返済回数はいくつですか？

金森 24回。

ATM2 かしこまりました。100万円。24回で承りました。（お札と封筒を渡し）どうぞ。

金森 （受け取り）

ATM2 ありがとうございます。

【ブランドショップ】

ブランドの袋を持った店員

店員 いらっしやいませ。

金森 このネックレスください。

店員 かしこまりました。お支払いは？

金森 現金で（店員に金を渡し）。

店員 （金森に袋を渡し）ありがとうございます！。

金森、ブランドの袋を持ってキャバクラへ

【キャバクラ】

金森、ブランドの袋をアキナに渡し

アキナ えー、いいんですか？

金森 気にいってももらえるかどうか。

アキナ ありがとうございます。（袋の中を見て）あー、かわいい

い！すっごい嬉しい！

金森 よかった！

アキナ お飲み物どうします？

金森 ボトルで。

アキナ ありがとうございます！

【ATM】

金森ATMへ。カードを渡すと

ATM2 ご返済でしょうか？お借入れでしょうか？

金森 借入。

ATM2 申し訳ございません。こちら限度額に達しております。

金森 じゃ、こっちのカード。

ATM2 こちらのカード、金森様でしたら現在限度額300

万円までをあげることが

金森 （遮り）お願いします。

ATM2 かしこまりました。本日のお借入金額は？

金森 100万。

ATM2 かしこまりました。ご返済回数はいくつですか？

金森 24回。

ATM2 かしこまりました。100万円。24回で承りました

金森 （受け取り）

ATM2 ありがとうございます！。

【ブランドショップ】

ブランドの袋を持った店員

店員 いらっしやいませ

金森 これ、現金で。

店員 （袋を渡し）ありがとうございます！。

金森、ブランドの袋を持ってキャバクラへ

【キャバクラ】

金森、ブランドの袋をアキナに渡し

アキナ えー、いいんですか？お飲み物どうします？
金森 ボトルで。

*アキナ ありがとうございます！

*ATM2 ありがとうございます！

*ブランドの店員 ありがとうございます！

アキナ、ATM2、ブランドショップの店員去り

【清掃バイト】

原田 やってくる

原田 どうもどうもクリーンサービスの原田です。

金森 お久しぶりです。金森です。

原田 あー金森さんね（曖昧な記憶） どうもどうも。

ここんとこブランドコでさ。

金森 そうですか。

原田 あーた、えーっと、お名前。

金森 金森です。

原田 金森さん、慣れましたか？

金森 はい。

原田 あーた、副業？って感じじゃないね。リストラ？あー、
いーのいーの無理に聞くつもりはないから。ま、リス
トラや、会社つぶれちゃったとかね、そういう人よく
きますよ。

金森 プライドはゴミと一緒に捨てちゃいます。

原田 そうそう。って言ったか、あーたに。

金森 はい。

原田 最近、物忘れがねえ、年だわ、老い。おい！老いなんつ
って。

金森 じゃあ、僕が千円貸したのは？

原田 私が借りたのかい？

金森 はい。お財布を忘れて。

原田 私が？

金森 はい。

原田 財布を？

金森 はい。

原田 忘れません。

金森 やややや。

原田 私は財布を忘れたりしませんよ。

金森 でも、忘れたんですよ。

原田 あーた、私は財布を忘れたことを忘れたりするような
人間じゃありません。

金森 じゃあ、僕の勘違いかな。

原田 あーた、そんな簡単に自分の言ったこと変えてしまっ
てはいけません。こういう事があると、お互い気分悪
いわな。お金のことは。たとえ千円でも。
金森 もういいです。

原田 よくありません！こうしましょう。千円の半分500
円返します。半々でことで、ね。それで、この件は忘れ
ましょう。

金森 ああ、はい。

原田 これで落着くということで（500円渡し）。

金森 (納得できないが) わかりました。

原田 あーた、今晩は？

金森 今日は。

原田 (遮り) 飯、行きましょう。ごちそうするから。さあ、

さあ。

金森 はい。

【キャバクラ】

原田と金森座っている

アンナとアキナやつてくる

アキナ 金森さーん。

*アンナ いらっしやいませ。

*アキナ いらっしやいませ。

金森 こちらね原田さん。

アンナ はじめましてアンナです。

アキナ アキナです。

原田 こりゃこりゃどうも。

アキナ お飲み物どうしますか？

金森 いつものボトルで。

アキナ あつりがとうございます。ボトル入りましたー

店員、ボトル持ってやつてくる

店員 あつりがとうございます！

原田 久しぶりだわな、こんな若い人たちと飲むの。

アンナ 原田さんだつてお若いじゃないですか。

原田 あーた、お世辞はいいですよ。年取るとね、若い人た

ち相手にしてくんないのよ。

アキナ そうなんですか？

原田 そうそう。私なんか誘つても付き合つてくれる人い

なくてね。この人(金森)だけだわ。

アキナ 優しいんですね、金森さん。

金森 そんなそんな。

原田 たいてい煙たがられるんだわ。私が若い頃は年上の人

を敬うつちゅうか、したもんだけどね。今は、古いだ

の、遅れてるだの、堅いだの言われて、見下されて。

あー悪い悪い。なんかしらけちゃったね。

アンナ 白けてないですよ。原田さんのお話聞いてるんです。

原田 もう言いません！説教たれつから相手してくんないん

だよな。

金森 いいんですよ。こういう所で発散しないと。

アンナ そうですよ。いくらでも言つて下さい。

原田 あーた、涙でそーだわ(顔を覆い)。

*アンナ え！？

*金森 え！？原田さん？

原田 悪い悪い。嬉しくつてさ。

店員、グラス持ってくる

原田 金森さん、ありがとう。

金森 ややや。お礼なんか。

原田 あーた、本当いい人だわ、ありがとう。

金森 ややや、本当に。

アンナ 乾杯しましょう。

金森 そうですね。

原田 今日は私がごちそうしますから、好きなだけ飲んで下さい。

アンナとアキナ、黄色い声

原田 乾杯！

みんな、乾杯とグラスを鳴らし

原田 あーうまい！

金森、原田、アンナ、アキナ飲みまくる。

4人が飲んでる間、空いたボトルを下げては新しいボトルを持ってくる店員。以上のシーンを早送りの動きで表現。

通常の動きに戻り、
寝ている原田

金森 そろそろ行くわ。

アンナ 車呼びますね。

金森 うん。

アンナ去り

金森 原田さん、帰りますよ。原田さん。

アキナ 起きそうにないですけど、大丈夫ですか？

金森 うん……。

店員、会計の書いたメモを持ってやって来て

店員 金森様、ありがとうございます（メモ渡し）。

金森 （カードを渡し）

店員 お預かりします（去り）。

アキナ 原田さん、ごちそうしてくれるって言ったのに。

金森 いいよ。

アキナ 本当に優しいんですね、金森さん。

金森 いやいや。

アキナ 優しく、頼もしい（金森にもたれ）。

金森 え？

アキナ 金森さん。

金森 え？

アキナ 金森さん。

金森 何？

アンナやって来て

アンナ 金森さん。

金森 はい。

この辺りから転換モード

アキナ 金森さんこっち見て。

金森 うん。

アンナ こつちよ、こつち見て。
金森 え？

音楽入り、転換へ

【金森家】

寝ている金森。座って数枚のカード明細を見ている陽子。

金森、起き上がり

金森 え？あ、うちか。

陽子 ねえ。

金森 なんだよ。

陽子 これ（明細を見せ）どういうこと？こんなにキヤッシングしてどうやって返すの？てゆうか、何にこんな使ってるの！ゼノンて何屋？いくら使ってるのよ！？ろくに働きもしないで！！

金森 働いてるよ。

陽子 日雇いでしょ。

金森 日雇いの何が悪いんだよ。

陽子 何様？この数日間です！信じらんない、何やってんのよ。

金森 お金、ないんだよ。どうすんの？！

陽子 どうにかするよ。

陽子 どうやって？

金森 どうにか。

陽子 どうして？

金森 え？

陽子 どうしてこうなるのかな？

金森 ・・・。

陽子 私、知らないからね。

金森 うん。

陽子 私が使ったんじゃないから。

金森 うん。

陽子 自分でどうにかして下さい。

金森 うん。

陽子、仕事へ

金森、明細を見る。見ている明細をくしゃくしゃにする。

【土木作業】

大久保 やってくる

大久保 金森さん、これ移動したら飯休です。

金森 はい。矢口さんは今日も休みなんです。

大久保 飯休です。

金森 いやいや、矢口さんは休み？

大久保 ああ、矢口さんね。違う現場です。

金森 そうなんだ。

大久保 なんすか？矢口さんに気があんですか？

金森 ちよつと仮があつて。

大久保 金つすか？

金森 うん。

大久保 まじつすか？！300円しか使わない人からいくら借りたんですか？

金森 ちよつと。
大久保 ちゃんと返さないと殺されますよ。
金森 わかつてるよ。
大久保 金の切れ目は縁の切れ目つつうじゃないすつか。
金森 うん。
大久保 じゃ、飯休で。
金森 はい。
大久保 (スマホだし) 今週どうすつかなあ。
金森 何? (覗き込み)
大久保 競馬っす。
金森 やるんだ。
大久保 はい。万馬券あてて会社つくります。
金森 なんの?
大久保 わかんないっす。
金森 なんだよ。
大久保 今は学歴じゃなくて、額歴の時代ですから。
金森 え?
大久保 額は学ぶじゃなくて金額の額です。
金森 ああ。
大久保 わしは高卒なんでそっち目指しますわ。
金森 俺もやろうかな?
大久保 やります?
金森 その、アイアムキングっていうの。
大久保 弱そうっすね。
金森 どれが強いのか?
大久保 そういふのは自分でリサーチするんすよ。
金森 そうか。俺、アイアムキングにする。

大久保 まじっすか。
金森 うん。競馬流行ってんの?
大久保 いや。
金森 矢口さんもいつも買ってるって。
大久保 そうなんすか。
金森 万馬券当てる店やるって言ってたよ。
大久保 へえ。ま、ちよつとした夢っすからね。
金森 ああ。
大久保 わしは、頭悪いんで自分でどうこうできる人間じゃないから運に任せるしかないんすよね。
金森 運ね。
大久保 (聞こえなくて) なんすか?
金森 いや、飯行こうか。
大久保 はい。

二人去り

【金森家】

陽子と真優。二人の前にはくしゃくしゃになっている明細。
陽子 私、お父さんと別れようと思う。
真優 なんで?
陽子 それ、見てよ。
真優、明細を見る。

陽子 お金がないのに、お金使って。どうしようもないことに

真優 (明細見ながら)ゼノンて何?23万、12万、9万、17万、

陽子 家族のこと何にも考えてない。それだけのお金あれば留学、行けるよ。

真優 なんで?

陽子 私、その為に働けないから。てゆうか、お父さんともう一緒にいたくない。どうする?真優。

真優 どうするって、

陽子 (真優の通帳を出し)これ、真優の口座。500万ちよつとある。

真優 え!?

陽子 真優がうち出る時について用意してた貯金だけど(渡し)それでどうするか考えて。

真優 お母さんは?

陽子 どっかに泊まって家探す。

真優 本気!?

陽子 一緒に来る?来てもいいよ。

真優 そんな急に言われても・・・。

陽子 どうしたいか考えて。真優が小さかったら我慢したかもしれないけど。もう大人だもんね。

真優 ……。

陽子、去ろうとするが、真優、止め

真優 お母さん、嫌だ。嫌だよ!嫌だ嫌だ嫌だ!!私まだ大人なんかじゃないよ!行かないでよ!嫌だよ!嫌だ嫌だ。

子供のように叫ぶ真優

暗転

【金森家】

スマホ電話で話している

金森

はい金森です。えっ!?本当ですか?!ああ、全額じゃないんだ。まあ、でも助かります。もう、今日口座に?わかりました。確認します。犯人はわかったんですか?そうなんだ。腹立つなあ・・・はい、わかりました。どうも(電話を切る)やった!

真優やつてくる

金森

真優、お金が戻ってくる。

真優

本当!?

金森

いやー、よかったー。

真優

そのお金で使ったお金返せるの?

金森

ああ、うん。

真優

よかったね。

金森

うん。留学も行けるよ。

真優

もう、いい。

金森

なんで?

真優

そんなこと。

金森 そんなことって。

真優 詐欺師は捕まったの？

金森 ううん。

真優 そっか。酷いね。

金森 本当だよ、人のお金を

真優 お金だけじゃない。

金森 え？

真優 人の心はどうやったら戻せるの？

金森 ……お母さんのことならさ、お父さんが連れ戻すから。

真優 戻って来ない（と思う）。

金森 （遮り）連れ戻すよ。

真優 お父さん、私も家出て、一人で暮らしてみる。

金森 え？！ちよつとちよつと。

真優 それで色々考える。

金森 考えるって何を？えー！？なんでよー。

真優 家が見つかるまではここにいさせてください。

金森 いつまでだっかっていいよ。ここはお前のうちなんだから。

真優 ……。

金森 ……本当に出てくのかよ。

真優 うん。

金森 大丈夫なのか？

真優 もう大人ですから。

真優 わかった。でも、嫌だと思ったらいつでも帰ってきて

金森 いいからな。困った時は、一人でなんとかしようとしてないですぐ連絡してくるんだよ。だから、この近所で

探すのがいいと思うけど。

真優 （遮り）お父さん。大丈夫だから。

金森 わかった。

真優、去ろうとし

金森 いつか笑い話にできるよな。

真優、止まり

真優 うん。

真優、去る

【喫茶店1】

金森座っている。荒木やつてくる。

荒木 お呼び立てして申し訳ありません。

金森 いえ。

店員やつて来て

店員 いらっしやいませ。

荒木 ホットコーヒーを。

店員 かしこまりました（去り）。

荒木 お返しするのが遅くなってしまう大変申し訳ありませんでした。7万円お返しします（封筒を渡し）。

金森 え！？いいんですか？

荒木 はい。

金森 少しずつじゃなくて大丈夫なんですか？

荒木 はい。ありがとうございます。

金森 本当に？

荒木 はい。お確かめください。

金森 (確認して) じゃあ、いただきます。

荒木 金森さん。

金森 はい。

荒木 お願いが。

金森 (遮り) 金ですか？

荒木 いえ。

金森 え？何ですか？

荒木 実は、母が亡くなりました。

金森 そうですか。ご愁傷様です。

荒木 ありがとうございます。

金森 紅葉は見られたんですか？

荒木 はい。とても喜んでおりました。金森さんのおかげで

す。

金森 いえいえ。

荒木 それはもう素晴らしい紅葉でした。夜はライトアップ

され幻想的で、昼間とは違った紅葉を楽しめて一日中

見られたことに大変感動しておりました。

金森 それは、よかったです。

荒木 母が亡くなった寂しさはあるのですが正直ほっとして

おります。家でやっていた仕事に集中できるようになりました。

金森 仕事してたんですか？

荒木 はい。収入はほとんどありませんでしたが。

金森 お願いっていうのは？

荒木 仕事というのは海外の方向けに日本のお店を紹介する

サイトを作っております。これからオープンに向けて

一緒に働いてくれる方を探しております。

金森 へえ。

荒木 金森さん、お知り合いでどなたかいらっしゃいませんか？

金森 職種は？

荒木 デザイナーと営業ですかね。

金森 あ、

荒木 どなたか心当たりございますか？

金森 はい、まあ。

荒木、

封筒を出し

金森

なんですか？

荒木 5万円入ってます。紹介料というか。

金森 やややや、いただけませんよ。

荒木 迷惑料というか。

金森 そんなのいりませんから。

荒木 受け取って下さい。

店員、

コーヒー二つ持って来て

店員

お待たせしました。

店員、コーヒーを置き去る

金森 これからの為にもってた方がいいんじゃないですか
(封筒を返し)。

荒木 香典を思った以上にいただきましたので(封筒を渡し)。
金森 じゃ尚更いただけませんよ(封筒を返し)。

荒木 今まで金森さんには不安な思いをさせてしまいました
し(封筒を渡し)。

金森 いりません(封筒を返し)。
荒木 はいえ(封筒を渡し)。

荒木 荒木さん。
金森 はい。

荒木 私どうですか？
金森 え？

金森 前職、東事務機で営業を20年やっております。
荒木 え！？

金森 前の会社が自主廃業したので、今無職なんです。
荒木 えー！

金森 お願いします。
荒木 いいんですか？

金森 それはこつちが聞きたいです。
荒木 是非お願いしたいです。

金森 はい。
荒木 正直、どうなるかわかりません。

金森 どうなるかなんて、何をやっててもわかりませんから。
荒木 ありがとうございます。

金森 これはお返しします(封筒)。

荒木 ありがとうございます。

金森 こちらこそ。よろしくお願ひします。

荒木 はい。はい。よろしくお願ひします。

荒木、封筒を持ち去り

【喫茶店2】

金森と佐竹がいる

佐竹 お元気でしたか？

金森 はい。すいません連絡しないままで。

佐竹 いえいえ。

金森 就職したんですよ。

佐竹 そうですか。

金森 ですからもう、クリーンサービスでは働けません。

佐竹 わかりました。

金森 すいません。

佐竹 いえいえ。

金森 お話というのはその件ですか？

佐竹 違います。

△金森 原田さんは？来てますか？

佐竹 いえ。

金森 ブランコかな。

佐竹 いえ。原田さん、亡くなったんです。

金森 え！？

佐竹 そのことをお伝えに。

金森 えー！いつですか？

佐竹 先週。突然でした。

金森 何か病気だったんですか？

佐竹 いえ。心不全です。

金森 信じられないな。

佐竹 本当、信じられないです。

金森 そうですか。

佐竹 それで、ご家族の方から連絡がありました。

金森 はい。

佐竹 遺言書に、財産の一部をクリーンサービスの方から連絡が来て、

に相続させたいとあったよう。

金森 え！？

佐竹 金森さんが原田さんという関係だったか聞かれました。

私もプライベートなことはわかりませんから。

金森 えーなんで俺なんですか？

佐竹 よくしてもらったようだとご家族の方は言っていました。

金森 えー

佐竹 親しくなかったんですか？

金森 一度、食事に行ったくらいです。

佐竹 そうなんです。原田さん、奥様はもう亡くなられて、

娘さんは海外にずっと住んでいて、息子さんとは絶縁

関係だそう。

金森 そうだったんだ。

佐竹 以前は専門書の出版社を経営してたんですって。財産

は結構あるようで、弁護士から金森さんに連絡が来る

と思います。その前にお伝えしといた方がいいと思

まして。

金森 ありがとうございます。信じられないことだらけだな。

佐竹 ですね。

金森 そっか・・・。

佐竹 じゃ、私、この後あるので（お財布からお金を出そう

とし）。

金森 あ、私が払います。

佐竹 いえいえ、私がお呼びしたので。

金森 じゃ、割りかんにしましょう。

佐竹 いいんですか？

金森 はい。

佐竹、財布から500円だし

佐竹 500円ここに。

金森 そう言えば、原田さんに1000円貸したことあった

んですけど、500円しか返してくれなくて。

佐竹 何ですか？

金森 借りた覚えはないって。でも、お互い嫌な気持ちにな

るから半分返すって。

佐竹 貸した方としては納得できないですね。

金森 そうですよ。変な親父だと思ったけど。

佐竹 これから、500円以上返ってくるんじゃないですか。

金森 家族の人たちと揉めるならいいじゃないよ。

佐竹 ああ確かに。でも金額によるんじゃないですか？

金森 1億だったら遊んで暮らせますよー。

佐竹 あーでも、私は働いて暮らします。

あら。

金森 お金ってなんなんですかね。
佐竹 うまく付き合っていないかと、なくしますよね。
金森 そうですね。人と同じか。
佐竹 じゃ、失礼します。お元気で。
金森 はい。佐竹さんも。

佐竹去り

金森 (500円持ち) 人と同じか。好かれたり、嫌われたり、裏切られたり、喜ばされたり、泣かされたり、

金森、立ち上がり

店員やって来て、金森千円渡す。

店員 ありがとうございます。

金森去る。

【土木作業】

作業をしている大久保、歩いている金森をみつけ

大久保 金森さん。

金森 ああ。

大久保 スーツなんか着て、もうセレブの生活つか。

金森 セレブなんかじゃないよ。

大久保 またまたあ。

金森 なんだよ。

大久保 きたじゃないつか、アイアムキング。

金森 え？

大久保 またまたあ。

金森 きたって？

大久保 万馬券。

金森 えーっ！！

大久保 知らないんすか？

金森 うん。*えー！！

*大久保 えー！！

金森 買った事忘れてた。

大久保 まじっすか？

金森 え？本当に？

大久保 12万倍でしたよ。

作業員 すごい。

大久保 アイアムキング、アイアムプリンセス、アイアムハー
ト、絶対来なさそうなアイアム3頭で3連単。

作業員 すごい。

大久保 捨ててないっすよね。

金森 うん。12万倍？

作業員 100円で1200万！！

*金森 えー！！

*作業員 えー！！

大久保 今度ごちになります。

金森 うん。

大久保 まじっすか？

金森 必ず。約束するよ。

大久保 お願いします。わしら仕事でまた。

金森 また。

大久保 次あっち。

作業員 はい。

金森 (財布から馬券を出し) 嘘だろう。

金森、馬券をしまい歩き出す

【飲み屋ココロ】

金森 すいませーん。

矢口やってくる

矢口 まだ準備中なんすけど、あ、金森さん。

金森 久しぶり。

矢口 どうも。スーツなんか着て、仕事決まったんすか。

金森 うん。

矢口 へえ、良かったっすね。

金森 うん。

矢口 おいら店の場所教えましたっけ？

金森 大久保さんに聞いた。

矢口 ああ。

金森 謝りたくてさ。

矢口 何を？

金森 仕事のこと、バカにして。

矢口 ああ、

金森 ごめん。

矢口 いや、おいらこそ怒鳴ったりして。

金森 やややや、矢口さん悪くないから。自分のやってることに誇り持たないとき。

矢口 なんか飲みます？

金森 準備中でしょ？

矢口 いいっすよ、お祝いしましょ。

金森 なんの？

矢口 就職の。

金森 ああ。じゃ、ビールを。

矢口 はい。ちよっとお待ちください。

金森 はい。

矢口去り

金森、馬券を出し

金森 これは矢口さんに(馬券をテーブルの上に乗せる)。

金森、誰もいないカウンター奥に向かってお辞儀をして去る

矢口、ビール瓶とコップを二つ持ってくる

矢口 金森さん？金森さーん(探し)どこ行ったんだろ？

ん？馬券？なんで？金森さーん？

矢口、金森を探しに行く

終わり